



新規加入された組合員さん…52名(2021年5月20日現在)  
 現在の組合員総数…8,487名(前年対比101.8%)  
 グリーンコープでんき 契約件数…97名(前月+1名)  
 グリーン電力出資金 申込人数…232名(2021年4月末現在)  
 申込件数…244件(2021年4月末現在)

発行：グリーンコープ生活協同組合理事会 出雲市斐川町莊原 2230-1 TEL0853-73-8010 FAX：0853-73-8013

## グリーングリーン交流会 in 山陰（オンライン）

メーカー・生産者の  
みなさんから  
直接お話がきける  
チャンス！

◎開催日 2021年7月16日（金）

◎時間 10:00~12:30



参加者全員に  
『牛乳 de ぶるりん(いちご味)』  
1個をプレゼント!!  
ご参加お待ちしております☆☆☆



5/31 週配布のチラシをご覧になりましたか？  
グリーンコープ商品のメーカー・生産者のみなさんとオンライン（Zoom）で交流します。  
締切りは7月2日（金）です。

用紙を無くされた方はみらんとのおたより欄でも申し込みできます！

①コース番号②お名前③電話番号を記入し、  
配送時にご提出ください♪



いろいろな思いや情報を伝えあいませんか？  
みなさんからの「おたより」をお待ちしています。

こんにちは 暮らしの委員会 です  
～住んでる街を 住みたい街に～



安全安心な食べ物と同じように  
自分や家族や地域の人たちが『今』と『将来』に  
安心して暮らせるといいなの思いから始めました。  
他単協（他県のグリーンコープ）の中に 組合員の手による地域福祉の取り組みがしっかりと地域に根づいているところもあります。次回は具体的に他単協での福祉の取り組みを紹介していきたいと思います。島根の福祉を考えるきっかけになるといいなと思います。

2021年6月21日 みらんと37号

☆商品についてのお問合せはこちらに☆

てるてるコーナー（フリーダイヤル0120-14-0586 月～金 9:30～16:30<祝日休>）

# 『おたより』ありがとうございます♡



## グリーンコープの放射能検査の取り組みについて

放射性ヨウ素、セシウムをのみ測定で安心というのは疑問がある。他の核種については測定の難しさがあるのは理解できるが、せめて全β（ベータ）の値を公開してほしい気がする。グリーンコープの取り組みを否定しているわけではありません。現在のものでも安全性の目安としては十分に機能していると思っています。でもそれで安全だと思ってしまうのはいかがでしょうかと思います。

2011年3月11日の東日本大震災での東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能漏れを受けて、グリーンコープでは、供給する取り扱い商品の放射能汚染について、自主検査を行い、その情報を公開しています。2011年10月からグリーンコープ内に『放射能測定室』を設置し、放射能測定の体制を整えました。

## グリーンコープ連合会 放射能測定室からの回答をお届けします。

### ① ヨウ素とセシウムに限定して測定している理由

- 放射能の事故などで大気中に放出されたとされる放射性物質の中で拡散しやすく、放出された量が多いのが、ヨウ素とセシウムです。半減期(放射線の量が半分になるまでの時間)がヨウ素は8日、セシウム134は2年、セシウム137が30年です。
- 飛び散った放射性物質が土壌にそのまま残ったり、成層圏まで舞い上がったものが雨などで少しずつ地上を汚染し、農作物などに取り込まれる可能性が高いためヨウ素、セシウム134、セシウム137は放出量が最も多いとされています。厚生労働省からの指導を受けている各地方自治体の公開情報では、これらが検査報告の対象となり、グリーンコープでも検査対象とすることになりました。
- またセシウムが最も測定しやすく、放出量が多いことから、セシウムが検出されれば他の核種も放出されていることが想定でき、セシウムを測定するようになっていきます。

### ② グリーンコープがγ（ガンマ）線を計測する機器（ゲルマニウム半導体測定器）を導入している理由

- γ線は測定しやすいのですが、β線は測定が難しく時間と費用もかかることから、ほとんどの検査機関ではセシウムのγ線を計測し、それを基準に点検されています。

#### 《主な放射線物質と放射される放射能》

- セシウム(134、137)…β、γ線
- ヨウ素(131)…β、γ線
- ストロンチウム(90)…β線
- トリチウム…β線



### 以上より…

#### 【全βの値を公開することについて】

- 今後もβ線の測定は技術面、時間、コスト面から難しいと考えており、測定公開は難しいと考えます。
- 現在計測しているγ線については、セシウム134、セシウム137、ヨウ素の範囲です。その他にカリウムは自然界に存在するものであり、データはありますが公表はしていません。
- そのほかのγ線(プルトニウム等)の核種を測定する場合、測定する核種ごとに設定すれば可能とのことですが、現時点では統一した規制値はなく、規制値があり比較できるセシウム134、セシウム137で計測を行い、汚染状況が把握できるようにしていきたいと考えます。

#### 【安心・安全について】

- グリーンコープではヨウ素、セシウムの計測をしているので安心という考えはありません。チェルノブイリ原発事故以降、食べものによる内部被ばくは少しでも避けるべきと考えてきています。
- その意味で、継続して測定し、その結果を公表し、組合員に実態を知らせていくことが必要と考え、今後もセシウムの測定実績の公開を進めていく考えです。